

# ビル メン

Monthly Magazine  
BUILDING MAINTENANCE

2030年まで10年。  
SDGsと響き合う  
ビルメンテナンスをはじめたい。

【特集1】

## 人手不足時代のいま、 企業価値を高めるために 必要な戦略とは？

【特集2】

## ビルメンヒューマンフェア& クリーンEXPO2019を振り返る

# 2

February  
2020



February 2020

2



表紙モデル＝株式会社盛岡総合ビルメンテナンス  
代表取締役社長 伊藤淳之介氏  
表紙写真＝渡辺真一  
アメリカでのNPO就業、不動産企業での企画業務、PMでの経験などを経て、盛岡総合ビルメンテナンスの社長を引き継いだ、伊藤淳之介氏。戦後の日本社会の清潔と安全安心維持に貢献してきたビルメンテナンス業のプライドを受け継ぎながらも、これからは「コスト脱却」の存在に変化しなければ生き残っていないと語る。

# CONTENTS

月刊ビルメンは、  
毎月1日発行。

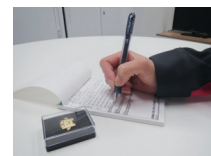
- 02 清掃人。  
森田優三 株式会社ビッグサイトサービス 撮影・立木義浩
- 05 Hope  
全国ビルメンテナンス協会会員企業から期待のホープが登場  
株式会社盛岡総合ビルメンテナンス 代表取締役社長 伊藤淳之介
- 08 | 特集1 |  
人手不足時代のいま、  
企業価値を高めるために必要な戦略とは？
- 17 BM Innovation LAB  
次世代のリーダーたちが意見をぶつけ合う！  
「第一回東日本サミット」誌上レポート
- 34 | 特集2 |  
ビルメンヒューマンフェア&  
クリーンEXP02019を振り返る
- 04 全国協会事業の取扱説明書 ビジネス&ヒューマンスキル研修
- 14 BM TOPICS
- 15 人と空間にやさしい環境管理 “健康経営”に取り組む企業は何から手をつけるべきなのか？
- 20 NEW ITEM INFORMATION
- 21 使ってみたらスゴかった 注目GOODS体験レポート EFフィットワイパー
- 23 事例に学ぶ 健康+安全クリニック 健康管理で事故を防ぐ！—安全と健康は両輪、一体で考える—
- 24 ビルメンのためのBCP実践講座 大きな方向転換を経て、BCPは新しい局面へ
- 25 時代を知る用語解説 SDGs
- 26 中小企業経営者のためのなんでも相談室 同一労働同一賃金を違反するとどうなる？
- 27 五〇年の轍 vol.26「カーペット時代の到来」
- スキルアップガイド
- 28 検定試験・各種セミナー・講座
- 29 イベントカレンダー
- 30 モノで学ぶビルメン関連法 墜落制止用器具
- 31 訓練センター通信
- 42 清掃の人間学 称え合う社内文化が組織の競争力になる！
- 44 BMウーマンの休憩室 群馬県協会が取り組む、女性が輝く意識改革とは？
- 45 ビルメン便り 番外編 静岡県協会発 避難所運営研修レポート 後半
- 46 知っておきたい外国人雇用の今
- 47 全国協会からのお知らせ/次号予告



P05 Hope  
株式会社盛岡総合ビルメンテナンス



P08 特集1  
人手不足時代のいま、現場力を  
高めるために必要な戦略とは？



P42 清掃の人間学

全国ビルメンテナンス協会会員企業から期待のホープが登場

# Hope

## 伊藤淳之介

Ito Junnosuke

株式会社盛岡総合ビルメンテナンス

代表取締役社長



目的は、清潔で、

安全安心な社会の実現と維持。

そのためのビルメンテナンスの「価値」づくりと、

「コスト脱却」が大きな課題です。



伊藤社長は、SDGs\* (Sustainable Development Goals / 持続可能な開発目標) を、具体的にどのように企業ビジネスに活かしていくのかを先導するアンバサダー (大使) に認定されている。※SDGsの用語解説については、25ページの用語解説を参照ください。

——今日は省エネなどの問題とも密着するSDGsという時代の潮流と、ビルメンテナンスの親和性について話をお聞きしたくて、SDGsアンバサダーでもある伊藤社長をお訪ねしました。その前に、現在おいくつですか？

伊藤 37歳です。

——大学はアメリカだったと伺いました。何を勉強されていたのですか？

伊藤 当初は東京の大学に入学したのですが、どうしてもそこでは物足りず、途中でカリフォルニアの大学に移って、経営工学・金融工学・ITを学びました。その後現地のNPOで働いて、帰国後、東京の不動産ファンド企業に就職しました。ここでは主に大型不動産や海外リゾート開発に従事して、企画の仕事でした。

避けては通れない!

# 人手不足時代のいま、 企業価値を高めるために 必要な戦略とは？

深刻さを増す人手不足は、特に中小規模の事業者にとって見過ごせないレベルに達している。会員企業へのアンケートをもとに、逆境を乗り越えてさらなる成長を果たすために、求められる戦略について考える。

Text = Takukazama, Sou Shibano

## 仕事の魅力を高めることが 人手不足の解消につながる

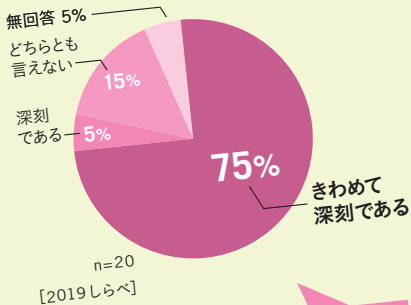
わが国の総人口および生産年齢人口は減少の一途を辿っており、この流れは今後も続くものと予想されている。労働人口の減少は、例外なくすべての産業に共通する課題だが、特に、労働集約型産業であるビルメンテナンス業にとって、その影響は他産業にも増して深刻だ。

人手不足を解消するためには、「労働者にとってビルメンの仕事が魅力的であること」が最も重要である。ビルメンテナンス業の最大の資本は、

労働者に他ならない。何より重要なのは、労働者一人ひとりが意欲を持って働くことができる環境をつくり、ビルメンテナンスの仕事の魅力、そして企業の魅力をアップすることだと言えるだろう。そのためには、金銭面ばかりではなく、心理的な報酬を得られることも欠かせない。ビルメンテナンス業が付加価値と生産性を高めて、社会から相応の評価を受けられれば、業界で働く労働者の評価が向上し、その変化は対価の面でも反映されるのではないだろうか。こうした根本的な原因の解決は一朝一夕では成し得ない。この難局を

## アンケート回答から見てきた 人手不足に負けない姿勢とは？

本誌で取材を行ったことのある全国の会員企業に緊急アンケートへの協力を呼びかけたところ、20社から回答を得ることができた。アンケートの結果から、その経営者やマネジャーの多くが人手不足について、大きな危機感を抱き、現状を打開するべく奮闘している様子が垣間見えた。



### 全体の8割が「深刻」と回答

全回答のうち「深刻ではない」という項目を選択した事業者は1社もなかった。全国の地域を問わず、人手不足の状況が蔓延していることが窺い知れる。

人手不足について緊急アンケートを実施しました！

Q 人手不足の状況をどう捉えていますか？



特集

1

BUILDING MAINTENANCE

# BM Innovation LAB

ビルメンイノベーションラボ

今回は

次世代のリーダーたちが意見をぶつけ合う！

## 「第一回東日本サミット」誌上レポート

各地区協会の青年部メンバーを中心とした若手が一堂に集まり、業界全体が抱える課題について、それぞれの考えや状況を打開するアイデアを話し合う討論会が昨年11月に開かれた。白熱した議論の様子を会場の熱気とともにお伝えしよう。



地区協会青年部メンバーが  
業界の課題について意見交換

ビルメンヒューマンフェア&クリーン  
EXPO2019の会期2日目にあ  
たる11月14日、東京ビッグサイトに  
て「第一回東日本サミット」が開かれ  
た。(令和を切り開く)というテーマを  
掲げて行われた本イベントは、栃木  
県と岩手県の地区協会青年部会が中  
心となり、業界を背負って立つ未来  
のリーダーたちが膝を突き合わせて、  
いま業界が直面する課題について話  
し合う機会として企画された。

第1回となる今回のイベントを主  
幹した栃木県ビルメンテナン協会  
青年部会長の薄井真悟氏に、イベン  
ト開催の狙いを伺った。

「これまで、若手世代の関係者が集  
まって生の声をぶつけ合う機会があ  
りませんでした。お互いに意見を交  
換することで大きな化学変化が生ま  
れることを期待して、本イベントを  
開催しました」(薄井氏)

会場には、全国から約50人が集結  
し、自由闊達な意見が交された。参加  
者らは「人手不足への対応」「賃金上昇  
への対応」という2つのテーマについ  
て、グループごとに討論を行い、その  
結果をリーダーが発表した。次ペー  
ジより討論会の様子を詳しくお伝え  
する。

満員御礼!

# ビルメンヒューマンフェア& クリーンEXPO2019を振り返る

昨年11月に開催されたビルメンヒューマンフェア&クリーンEXPO2019。例年にも増して盛況であった今回のヒューマンフェアについて、アンケートの結果や、注目を集めたセミナーの誌上レポートを通して、業界の最新動向を探る。

Text = Michiko Kanetoh, Taku Kazama Photo = Shinichi Watanabe

例年にも増して大盛況だった  
今年のヒューマンフェア!

昨年11月13日、14日、15日の3日間  
にわたって東京ビッグサイトにおいて、全国ビルメンテナンス協会と  
日本能率協会が共同主催する業界最大  
のイベント、ビルメンヒューマン  
フェア&クリーンEXPO2019  
が開催された。4月にオープンした  
真新しい南展示棟を会場に、資機材  
メーカー等のブースが立ち並んだ展  
示会では過去最大規模となる156  
社(307小間)が出展し、来場登録  
者の合計は1万2776名を数えた。  
昨年の11月号でもお伝えした通り、  
今回のフェアでは、2つの試みが実  
現した。

その1つは設備管理に関連した展

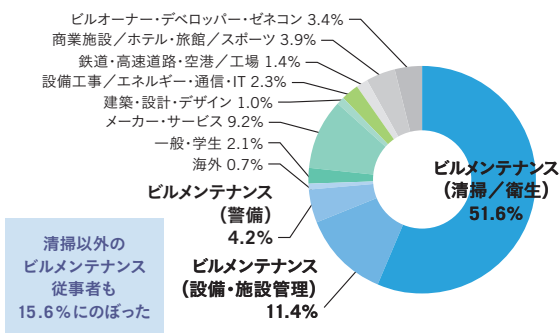
示およびセミナーを拡充したこと。「クリーンEXPO」という名称が与える印象もあり、どうしても清掃のイメージが先行しがちであった状況を払拭するため、ビルメンテナン

ス業に欠かせない業務である設備管理分野を強化したことで、清掃以外の業務に携わるビルメンテナンズ従事者も含めて、幅広いニーズに応えることができた。

もう1つの試みは、会期中に開催されるセミナーのテーマを日替わりで設定したことだ。「環境配慮、省エネ時代のビルメンテナンス」「新時代ビルメンの人材活用、教育訓練」「人材不足時代における生産性向上」という3つのテーマのもと、連日とも、業界の将来を占う上で注目すべき数多くのセミナーが開催されて、多くの参加者が耳を傾けた。

来場者アンケートの結果を見ると、「講演会・セミナー聴講」および「イベント企画」を目的に来場した人が昨年開催時と比べて約2倍に増えて

## ▼来場者の業種別割合



過去最大の  
出展規模だった  
今回のフェア

